

全国国民健康保険診療施設協議会 令和4年度会長選挙
所信表明

秋田県市立大森病院 院長 小野 剛

この度の役員改選にあたり再度国診協の会長に立候補させていただきました。

2年前皆さまからの信任をいただき国診協会長に就任させていただきました。会長就任にあたり「繋」をテーマに掲げましたが、この2年間は新型コロナウイルス感染症拡大という厳しい状況の中での運営を強いられ、全国学会や現地研究会などの主要事業も中止に追い込まれ会員の皆様とお会いする機会も減り、十分に「繋ぐ」ことができない状況でした。しかし一方で Web の活用が広がり各種会議や研修会をオンラインで開催できたことは収穫でした。国診協会長としてのこの2年間の成果を検証するとともに積み残した課題に取り組みながら次の世代に繋げることが責務であると考え、今後2年間国診協のかじ取り役を担わせて頂きたいと再度立候補させていただきました。

国診協会員施設は大病院から中小病院、有床・無床診療所、病院歯科・歯科診療所など多様な施設で構成され、他病院団体とは異なる特徴があります。また多くの国保直診は少子高齢化と人口減少が進む離島・へき地・中山間地域に立地し、厳しい環境の中で地域ニーズに対応した地域包括医療・ケアを実践しています。今後はこれまで以上にそれぞれの地域や施設と繋がり多様な意見をお聞きしながら「全体最適」を目指した国診協運営を行っていきたいと考えています。今後2年間会長として取り組む主なテーマを以下に示します。

1. ブロック会議・各都道府県会議等への積極的参加による会員の皆様との交流
2. 5～10年後を見据えた「国保直診のありたい姿」を提言
3. 国診協の次世代を担う「国診協若手の会」の拡充
4. 日本地域医療学会への参画と「地域総合診療専門医」育成の取り組み
5. 国診協内部委員会・部会の再編
6. 国診協の考える「かかりつけ医」の検討と提言
7. 「働き方改革」「地域医療構想」「第8次医療計画策定」等国の施策に関する情報提供
8. 診療報酬・介護報酬同時改訂に向けての要望書の作成と提出
9. オンラインを活用した会議開催の継続による活発な意見交換
10. 公益社団法人としての国診協の健全経営と健全運営

2025年問題も目前に迫り2040年問題も視野に入ってきました。また、2年後には「働き方改革」をはじめとする制度改革が予定されています。年々変化し厳しくなる地域医療環境の中、国保直診がそれぞれの地域で持続可能な運営ができるような情報発信に努め会員施設と双方向性に繋がりながら次世代を見据えた国診協運営を心掛けるとともにインテグリティ(Integrity: 誠実さ、真摯さ)を持ち備えたリーダーとなるよう努力いたしますので何卒よろしくお願い申し上げます。